

# PFAS相談外来のご案内

ピーファス

PFASとは有機フッ素化合物の総称です。

PFASは防水スプレーや化粧品、ファストフードの包装紙など、私たちの身近なものに使われています。米軍や自衛隊の基地、工場や産業廃棄物などから漏れたPFASによる水の汚染が全国で問題になっています。

PFASは体の中に入ると、留まりやすく、甲状腺疾患、高コレステロール血症、肝障害、発がん、流産リスクの増加、低出生体重など、さまざまな影響をおよぼします。

PFASの健康被害を防ぐには、体の中にどれぐらいのPFASが入っているかを知ることが大切です。

中野共立診療所では、PFASの血中濃度を調べ、医師が結果を説明する「PFAS相談外来」をはじめました。

ご希望の方は職員までご相談、お申込みください。

社会医療法人社団 健友会 中野共立病院附属中野共立診療所

## PFAS 相談外来概要

対象	15歳以上
検査方法	血液検査（採血のみ・問診票あり）
結果説明	大山美宏医師（土曜日午前・要予約） ※結果説明は検査から約5週間後です
費用	一般：11,000円 友の会会員：9,900円（自費診療・税込み） ※2025年7月現在



## PFAS 相談外来のながれ

### 1 受付・採血・問診

予約不要。職員にお申し出ください。  
結果説明を聞く日を予約します。

### 2 測定・分析

病体生理研究所で測定、分析します。

### 3 結果説明

測定された数値について、わかりやすく医師が説明します。  
数値が高かった場合は、別途、詳細な検査などをおこないます（保険診療）。

